

年次継続監視評価表(令和6年度)

1 基礎情報

対象施設	放課後児童クラブAブロック(公立16施設)
施設の設置目的	放課後等に保護者が就労等により常時留守となっている家庭の児童に対し、必要な保育を行い、児童の健全な育成を図る。
施設所管部署	こども未来部 こども育成課
指定管理者	株式会社 トライグループ
指定期間	令和6年4月1日から令和10年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)家庭生活及び社会生活に必要な生活習慣の育成 (2)児童クラブに入室した児童の保育に関する業務 (3)児童クラブの施設の維持管理に関する業務

2 施設利用状況の推移

	過去5年間の平均	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
人数(件数)	690人	732人				
対前年度比	-	-				

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果) ※3ブロック全体結果

	回答者数	満足度			
		施設・設備管理	接客対応	おやつ	全体
上半期	306人	54.3%	76.1%	54.5%	77.1%
下半期	296人	58.5%	80.4%	54.0%	76.7%
利用者の主な意見・要望等	・現場の支援員への感謝及び意見、要望 ・トライグループ事務局への意見、要望 ・施設の修繕・整備要望				

4 主な自主事業実績

自主事業名	内容	参加者数等
バルーンアートイベント	地域の団体を招きバルーンアート制作を実施	141人
ドローン操縦体験	外部団体を招きドローンの操縦体験を実施	93人
トライ高等学院イベント	トライ高等学院の生徒によるオノマトペゲーム、キャラクタークイズを実施	89人

5 主な修繕実績

(単位:円)

修繕箇所・修繕名等	内容	金額
壁紙(内牧)	壁紙修繕	231,000円
床(豊春)	ささくれ修繕	228,800円
エアコン(宮川)	エアコン購入	223,300円

6 収支状況

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
収入額 A	207,927,000					
内、指定管理料 a	190,889,000					
内、利用料金収入	17,038,000					
支出額 B	207,397,292					
内、人件費	159,659,468					
収支額 A-B	529,708					
対前年度比	-					
想定事業費 C	243,526,860					
削減額 C-a	52,637,860					
特記事項 (増減額の説明等)	・令和6年度の「内、指定管理料a」欄の金額には、指定管理料のほか、放課後児童支援員等処遇改善等事業費補助金、放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業費補助金、放課後児童支援員等処遇改善事業(月額9000円相当賃金改善)補助金、粕壁放課後児童クラブ教室増に伴う人件費及び備品等についての補助金を含みます。					

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	<ul style="list-style-type: none"> 一部クラブにおいて仕様書で定めた支援員の配置数となっていなかったため、適切な配置となるよう指導した。 備品の管理が不十分などがあったため、適切に対処するよう指示した。
第2四半期	A	<ul style="list-style-type: none"> 一部クラブにおいて仕様書で定めた支援員の配置数となっていなかったため、適切な配置となるよう指導した。 修繕が遅れている箇所があるため、速やかに対処するよう指導した。 防犯装置セットは施設の保安管理上重要な作業のため、忘れのないよう指導した。
第3四半期	A	<ul style="list-style-type: none"> 支援員が研修へ出席できるよう指導した。 修繕が遅れている箇所があるため、速やかに対処するよう指導した。 備品の管理が不十分などがあったため、適切に対処するよう指示した。
第4四半期	A	<ul style="list-style-type: none"> 修繕が遅れている箇所があるため、速やかに対処するよう指導した。 防犯装置セットは施設の保安管理上重要な作業のため、忘れのないよう指導した。

※評価結果の凡例

- A：適切な指定管理業務が実施されている。
 B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。
 C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取り組みを見直し。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	施設の目的及び市が示した管理の方針と合致した内容となっているか。 児童の保護及び遊びを通しての育成指導に適した内容となっているか。	○ ○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		小学校との適切な連携が行われているか。	○
		保護者との協力体制は適切か。	○
		おやつに関する業務についての運営は適切か。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	×
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	×
		職員採用、確保の方策は適切か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	×
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		16/19	
特記事項(指定管理者への指示事項等)			
<ul style="list-style-type: none"> 職員体制については、一部のクラブにおいて仕様書等で定めた支援員の配置数となっていなかったため、適切な配置となるよう指示しています。 一部クラブにおいて、修繕がなされていない箇所があるため、速やかに修繕するよう指示しています。 職員の資質向上や保育の質のさらなる向上のためにも、職員の積極的な研修参加を指示しています。 			

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について バルーンアートイベントやドローン操縦体験を実施するなどして、積極的に児童たちの交流の場を作るほか、住民サービスの向上に努めていました。費用対効果の考えを念頭に置き、事業の執行や効率的な経費の執行に努めていました。
指導に対する対応・改善状況について 一部のクラブにおいて仕様書で定めた支援員の配置数となっておりませんが、補助員等の配置により保育の水準は概ね保たれていました。各クラブごとに状況を踏まえつつ、人事異動や交換研修といった様々な職員研修を行い、安心・安全な保育の実施や、職員の資質向上に向けて意識的に取り組むことができていました。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等) 給与・立場・通勤距離などクラブ職員の処遇や環境の改善の必要性など考慮し、今後も放課後児童クラブの安定的な運営とさらなる質の向上を目指します。

令和6年度の評価結果	A
------------	---